

### 学校教育目標

#### 創 【未来を拓く】

～輝く瞳、笑顔とあいさつ、光る汗～

#### めざす生徒像 「気づき 考え 行動する」生徒

- (1) 学び合い、高め合う生徒⇒輝く瞳・・・(知)
- (2) 認め合う、心豊かな生徒⇒笑顔とあいさつ・・・(徳)
- (3) 心身共に健康な、たくましい生徒⇒光る汗・・・(体)

### めざす学校像

#### 基本理念【ひとりの生徒を 粗末にしたとき 教育は その光を失う】

- (1) 学力向上に努める学校
- (2) あいさつと歌声が響く学校
- (3) 安全で安心してすごせる学校
- (4) 清潔で花いっぱい学校
- (5) 地域とともに歩み、信頼される学校



### 什(じゅう)の掟

～ならぬことはならぬものです～

- 一、年長者(としようえ)の言ふことに背いてはなりません。
- 一、年長者には御辞儀をしなければなりません。
- 一、虚言(うそ)をいふ事はなりません。
- 一、卑怯な振舞をしてはなりません。
- 一、弱い者をいぢ(じ)めては成りませぬ。
- 一、戸外で物を食べてはなりません。

ならぬことはならぬものです。

江戸時代の会津藩(福島県)では、十歳になると日新館という現在の学校のようなところに入って学問や武芸を習うことになっていました。まだ入れない六歳から九歳までの藩士の子どもたちは、十人前後で、集まりをつかって勉強していました。この集まりのことを「什(じゅう)」と呼んでいました。この集まりの最後は、『ならぬことはならぬものです』という言葉で、締めくくられていたそうです。

『ならぬことはならぬものです』という言葉には、人として生きるためには、理屈や言い訳が通らない絶対にやってはいけないことがあるという意味が込められています。礼儀(あいさつ)がないこと、嘘をつくこと、弱い者いじめをすること等は、人として恥ずかしいことだと戒められていたそうです。物事を判断したり、行動したりするとき、家庭の基準や個人の基準があるはずですが、会津藩の子どもたちのように「嘘をつかない」、「自分がされて嫌なことは他人には決してしない」という基準もあるでしょう。基準は、家庭や人によってまちまちです。何より大切なことは、それぞれの基準が周囲の人を幸せな気持ちにし、自分をも高めるような基準になっているかということです。子どもたちは、これから多くの人と関わりながら生きていきます。いつも物事が、自分の思いどおりにいくとは限りません。

多感な時期であり、心身ともに成長著しいこの時期は、保護者の皆さんも子育てについて、様々な悩みを抱える時期でもあると思います。

しかし、このような時期だからこそ、それぞれの家庭でしっかりとした基準を定め、『ならぬことはならぬものです』の教えを子どもたちに私たち大人が、教えていくことが必要なのではないでしょうか。子どもたちにはどのような時であっても、周囲の人のことを考え、行動し友だちと心を通わせながら、楽しい中学校生活を過ごしてほしいと思います。学校においても社会に出た時に困らない資質を培っていきます。

### 各種大会・コンクール結果

#### ☆バドミントン部

第36回千葉県中学校バドミントン1年生大会  
山武支部予選会

- 6位 高松 鈴彩 県大会出場
- 7位 石川 恵子クルニアワン 県大会出場
- 8位 下地 歩
- ベスト16 下地 真奈
- ベスト16 坂本 星那

※クラスは1年1組

第11回SANBUロビンカップバドミントン大会  
予選リーグ

- 対 白井市立大山口中学校 0-3 惜敗
- 対 千葉市立轟町中学校 0-3 惜敗

#### 決勝トーナメント

- 1回戦  
対 大網白里市立大網中学校 0-2 惜敗

#### ☆吹奏楽部

第38回千葉県吹奏楽個人コンクール  
山長夷地区予選

- 銀賞 坂本 璃穂(2年1組)
- 銀賞 磯崎娘虎美(2年2組)

